

しらかば

第71号

平成27年
(2015年)

7月

公益財団法人 北海道札幌市東区北26条東14丁目1-15
北海道対がん協会 TEL (011) 748-5511 Fax (011) 748-5512

<http://www.hokkaido-taigan.jp/>

北海道がん対策基金を 設立しました！

～がんに負けない社会の実現を目指して～

「がん対策基金」とは？

「がん」は、本道においても死因の第1位を占め、道民の生命や健康への脅威であり、がんの克服は多くの道民の願いでもあります。

「がんになっても安心して暮らせる社会づくり」を目標に、全ての道民が一体となつてがん患者やその家族の方々を社会全体で支える仕組みとして、平成27年2月、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした基金を設立いたしました。

今後、本基金をもとに、皆様とともに「がんに負けない社会」の実現を目指して様々な取組みを進めてまいりますので、継続的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

♥ 北海道がん対策基金に寄せられた善意は こんな事業に役立てられます。

◎がん患者・家族への支援

患者やご家族の方々の身体的、経済的な負担を軽減するための療養生活や就労の相談のほか、ピアサポーターの派遣等に活用
※ピアサポーターとは…がん患者や家族を仲間（ピア）として支援するがん患者



◎小児がん患者・がん教育への支援

小児がんの子供への学習支援や家族との交流、幼少期からのがんの知識を深めるためのがん専門医を学校に派遣するがん教育等に活用



◎情報提供・普及啓発

がんの知識や理解を深めるための様々なイベントの開催や啓発素材の作成、地域の療養施設の情報提供等に活用



◎がん検診の受診促進、予防対策

がんになるリスクを減らすため、日頃の生活習慣の改善やがん検診受診の必要性を理解していただくためのイベントの開催や広報活動等に活用



基金のしくみ



募金の方法

みなさまからの募金を心よりお待ちしております。

- 口座への振り込みによる募金
- イベント会場での募金
- 協賛商品の購入による募金
- 直接寄付・募金

※この募金は法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。

振込口座

次の銀行口座で受け付けております。

北洋銀行 札幌南支店
(口座番号) 普通 4591650
(口座名) 北海道がん対策基金

※本・支店に備え付けの振り込み用紙により窓口で振り込んだ場合、振込手数料が無料になります。

北海道銀行 札幌駅前支店
(口座番号) 普通 1877125
(口座名) 北海道がん対策基金

※本・支店に設置の現金自動預け払い機(ATM)で振り込んだ場合、振込手数料が無料になります。

ゆうちょ銀行
(口座番号) 02740-9-102016
(口座名) 北海道がん対策基金

お問い合わせ

- (管理・運営) 公益財団法人北海道対がん協会
TEL (011) 748-5511
- 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策・健康づくりグループ
TEL (011) 204-5117

♥ 手記のご紹介

平成27年4月、釧路市在住の山田栄子様から、多額のご寄付をいただきました。
ご寄付をいただいた際に、ご自身の体験手記をいただきましたのでご紹介いたします。
がん征圧に向けて、託された思いをかならず引き継いでまいります。



平成24年のクリスマスの日のことでした。

大腸ポリープの病理検査の結果を聞く日です。
当然、私は「何でもない」と言われると考えていました。

しかし、医師は思いもかけず、「結腸がんでした」との言葉。
その瞬間、何も考えられなくなり、次の検査の説明も耳に入ってきませんでした。

それから二年ほど定期的に検査をしていますが、転移はなく、普通の生活を送っています。
これも、釧路市から送ってきた、がんの無料クーポンのおかげです。

大腸がんのクーポンが送られてきた際には、三ヶ月前に受けたばかりで、クーポンを使う気はありませんでした。

クーポンを受け取ってから一カ月後、かかりつけの病院から電話がかかってきて、「無料なので使ってみてはどうか」との話です。

使う予定のなかった私は、しまいこんでしまい、クーポンが見つからないことを話すと、病院の事務の方が、市役所へ問い合わせをしてくれました。

その検査の結果、大腸ポリープがあることがわかり、病理の結果でがんが発覚したのです。

家系にがんの人はいないですし、健康には気をつけているつもりだったので、大変驚きました。

検診を受けていなければ、かなり進んでの発見で、放射線・手術・抗がん剤などの治療は、免れることは出来なかったでしょう。

辛い闘病生活を、今も送っていたかもしれません。

私は、一人でも多くの人に検診を受けていただき、同じように、ラッキーな人を増やしたいのです。

がんの発覚前と同じ生活が出来ます。
趣味のマラソンを続けています。
普通に仕事も続けてこられました。

がんの治療に苦しまないで済んだ時間を、社会のために使いたい。
恩を返していきたいと思います。

早くに見つかれば、何も怖くない病気なのだという事を皆さんに知ってほしいのです。

平成27年4月 山田 栄子 様

♥ 募金状況について

平成27年6月、
株式会社北海道シジシー様より、
500万円ものご寄付をいただきました。
御厚情に心より感謝を申し上げます。



CGC 北海道シジシー

基金への募金は、下記商品募金のほか、
個人・法人様から直接お寄せいただいています。
募金状況については、次号のしらかばで御報告します。

♥ 商品募金協力企業等のご紹介 (平成27年5月22日現在) 現在、次の企業・事業所様からご協力をいただいています。

【北海道キリンビバレッジ(株) 様】

清涼飲料水自動販売機の売り上げの一部を設置者が寄付

自販機設置協力者様	住所
国立病院機構北海道がんセンター 様	白石区
一般社団法人北海道医師会 様 (医師会館)	中央区
日本データサービス(株) 様	東区
AQUA札幌 様	中央区
公益財団法人北海道対がん協会	東区
ほか5団体、22台導入予定	



【サントリービバレッジサービス(株) 様】

清涼飲料水自動販売機の売り上げの一部を設置者が寄付

【(株)スミフル北海道事務所 様】

バナナ販売の売り上げの一部を寄付
近日販売開始予定
現在、販売協力店を募集中



【(株)北洋銀行 様】

基金へ振込をする際、
店舗備え付けの
振込用紙を使用した場合、
振込手数料が無料

【(株)北海道銀行 様】

基金へ振込をする際、
ATMを使用すると
振込手数料が無料

【住友生命保険相互会社 様】

顧客に対して「北海道がん対策基金」寄付アンケートを実施し
回収されたアンケートの枚数に応じて基金に寄付 (期間限定)

住友生命保険相互会社 様



【(株)東海日動パートナーズ北海道 様】

「がん治療支援保険」および「がん診断給付金」等の
がんに関する特約を付帯した保険の契約件数に応じて寄付

(株)東海日動パートナーズ北海道 様



現在、商品募金等の協力企業を募集中です！お気軽にお問い合わせください。

◆北海道がん相談・ピアサポート等体制整備促進事業報告◆

留萌市と八雲町でがんサロンを開設しました



北海道は、がん対策の充実を図るため、2期目となる「北海道がん対策推進計画」を平成25年3月に策定しました。その中で、がん診療連携拠点病院又は指定病院が未整備の地域に、がん治療や療養・生活などについての相談支援や、患者相互の交流をはかることを目的とした「がんサロン」を設置するとともに、サロンを運営する人材の育成を行う『北海道がん相談・ピアサポート等体制整備促進事業』に取り組むこととなり、平成26年度は当協会が委託事業として受託し、留萌地域（留萌市）と北渡島檜山地域（八雲町）の2地域において実施しました。

事業実施にあたり、新たに相談員2名（保健師1名、医療ソーシャルワーカー1名）とピアサポーター（がん経験者）2名を雇用し、札幌などで開催されているサロンの見学をはじめ、がん相談研修会や勉強会への参加をはじめ、サロン運営者や医療関係者から助言や指導を受けるなど、相談スキルの向上を図りました。また、当該地域の情勢を把握し、地域にあったサロンの設置・運営方法を検討するため、地元の医療機関をはじめ行政等関係機関と協議を重ね、平成26年8月から平成27年3月まで、月1回サロンを開催しました。

最終回の第8回には、両地域の参加者から「サロンをぜひ継続してほしい、同様の悩みを持つ人と会うこと話すことでこんなに癒されるとは。今は治療の辛さに耐えてサロンに参加することが生きがいになっている。」など、継続を切望する意見が多数出されました。この意見を踏まえ両地域でそれぞれ検討していただいた結果、事業終了後の平成27年4月以降についても、留萌市においては留萌市立病院、八雲町においては八雲保健所、八雲町役場、八雲総合病院の3者の協力によりサロンの開設運営を継続していただけることとなりました。

【留萌地域がんサロン開催概要】 開催場所：留萌市立病院

開催回数	開催日	開催内容	講師	患者・家族他参加者数	スタッフ含参加者計
第1回	8月26日(火)	交流会	—	4名	6名
第2回	9月30日(火)	講話「抗がん剤のおはなし(副作用を中心に)」 茶話会	留萌市立病院 消化器内科部長	12名	19名
講演会	10月15日(水)	がんサロン普及啓発講演会 「一病息災…がんになけないために」 留萌市は一とふる 2階 多目的ホール	五輪橋産科婦人科 小児科病院 医師	—	69名
第3回	10月21日(火)	ヨガ教室 茶話会	Yoga for cancer ヨガ講師	3名	8名
第4回	11月25日(火)	講話・簡単でおいしい食事の工夫 (症状別で選ぶおすすめメニュー) ・市販食品を使った栄養補給	留萌市立病院 管理栄養士	5名	12名
第5回	12月16日(火)	クリスマス交流会	—	3名	12名
第6回	1月20日(火)	講話「口腔ケア がん治療を受けるときに 知っておきたいこと」 茶話会	札幌医科大学附属病院 歯科口腔外科 歯科衛生士	4名	12名
第7回	2月10日(火)	講話「お菓子の飲み方」 茶話会	留萌市立病院 薬剤師	7名	14名
第8回	3月3日(火)	ひな祭り交流会	—	10名	14名



【八雲地域がんサロン開催概要】 開催場所：八雲総合病院

開催回数	開催日	開催内容	講師	患者・家族他参加者数	スタッフ含参加者計
第1回	8月22日(金)	ミニ勉強会「抗がん剤の副作用について」 茶話会	八雲総合病院 薬剤師	4名	15名
第2回	9月26日(金)	ミニ勉強会「脱毛時期のケア・工夫」 茶話会	札幌医科大学附属病院 看護師	2名	12名
第3回	10月24日(金)	ミニ勉強会「顔を良く見せる技」 茶話会	化粧療法協会 会長	2名	9名
第4回	11月28日(金)	ミニ勉強会「リンパ浮腫のケア」 茶話会	八雲総合病院 理学療法士	5名	12名
第5回	12月19日(金)	ミニ勉強会「食事の話」 茶話会	八雲総合病院 栄養士	5名	15名
第6回	1月23日(金)	ミニ勉強会「医療費について」 茶話会	八雲総合病院 社会福祉士	4名	10名
第7回	2月20日(金)	ミニ勉強会「知って受けよう胃の検査」 茶話会	北海道対がん協会 医師	4名	12名
第8回	3月13日(金)	八雲町民公開講座 「がんを知るーがん征圧を目指してー」 茶話会	北海道対がん協会 会長	茶話会 3名	公開講座 37名 茶話会 12名



第46回 がん予防道民大会

日 時：平成26年10月24日（金）

場 所：釧路市観光国際交流センター

主 催：北海道・釧路市・北海道健康づくり財団・北海道対がん協会

後 援：北海道市長会・北海道町村会・北海道医師会・北海道歯科医師会・日本対がん協会・北海道国民健康保険団体連合会・北海道食生活改善推進員協議会・北海道健康をまもる地域団体連合会・北海道薬剤師会・北海道看護協会・北海道老人クラブ連合会・北海道社会福祉協議会・北海道町内会連合会・北海道言語聴覚士会・北海道歯科衛生士会・北海道介護支援専門員協会・北海道栄養士会・北海道作業療法士会・北海道理学療法士会・北海道医療ソーシャルワーカー協会・釧路市医師会・釧路歯科医師会・釧路薬剤師会・北海道看護協会釧路支部・釧路市老人クラブ連合会・釧路市社会福祉協議会・釧路市連合町内会・北海道言語聴覚士会釧路支部・北海道歯科衛生士会釧路支部・釧路地区介護支援専門員連絡協議会・北海道栄養士会釧路支部・北海道新聞社・朝日新聞北海道支社・読売新聞北海道支社・毎日新聞北海道支社・釧路新聞社・NHK釧路放送局・北海道放送・札幌テレビ放送・北海道テレビ放送・北海道文化放送・テレビ北海道・FMくしろ（順不同）

■がん予防功労者表彰：白 老 町（町長 戸田 安彦 様）
斜 里 町（民生部長 松岡 誠 様）
洞爺湖町（健康福祉センター長 山本 隆 様）
厚 岸 町（保健福祉課長 高橋 敏晴 様）
小 平 町
旭川食生活改善協議会（会長 菊田 信子 様）

■特別講演：「がんと人間と社会」
公益財団法人日本対がん協会会長 垣添 忠生 氏

■健康講話：「ドクターらく朝の“笑って笑って、がん予防”」
落語家 立川 らく朝 氏



がん予防道民大会は、道民の皆さんにがんに関する正しい知識と、がん検診の重要性の普及を図ることを目的に例年実施しています。第46回目の平成26年度は、秋晴れの中、16年ぶりに釧路市で開催され、地元の明輝高校の生徒をはじめ全道から約800名の参加がありました。

がん予防功労者表彰では、がんの正しい知識の普及啓発に積極的に取り組み、がん検診受診者数の拡大、特に計画検診・未受診者対策やがん予防・生活習慣病予防に取り組み、地域の保健福祉向上に功績のあった6団体に感謝状と記念品が授与されました。

「がんと人間と社会」と題して、日本対がん協会の 垣添 忠生会長には、がんについて、自身やご家族の体験も交えながら、基本的な知識と検診の大切さをご講演いただきました。

2人に1人はがんにかかり、3人に1人はがんで亡くなる社会となり、自分や家族ががんにかかることは不可避ともいえる状況ですが、検診受診率は低迷したままです。一人ひとりの意識を変えることの大切さを改めて実感した講演でした。



医師でありながら、趣味が高じてプロの落語家となった立川 らく朝氏は、「健康情報を笑いを交えて提供する」をコンセプトに、「健康落語」など健康教育と落語をミックスした新しいジャンルの講演会を開催しています。「“笑って笑って、がん予防”」という表題のとおり、わかりやすくかつ楽しい講話に、会場からは笑いが絶えませんでした。

なお、「がん予防道民大会協賛団体」として、下記の14の企業及び団体より協賛金を頂き、大会の運営費として活用させていただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

【第46回がん予防道民大会協賛団体】(順不同)

- ・北海道キリンビバレッジ(株)
- ・釧路信用金庫
- ・(株)北海道銀行
- ・エーザイ(株) 南北海道統括部
- ・(株)日栄舎
- ・一般社団法人 北海道医師会
- ・一般社団法人 北海道薬剤師会
- ・北海道コカ・コーラボトリング(株)
- ・(株)北洋銀行
- ・アフラック札幌総合支社(アメリカンファミリー生命保険会社)
- ・札幌臨床検査センター株式会社
- ・WiSM株式会社ムトウ
- ・一般社団法人 北海道歯科医師会
- ・アラマークユニフォームサービスジャパン(株)
- ・東日本運営本部北海道事業所

子宮頸がんに関する普及啓発プロジェクト 実行委員に参加しました

未来を守ろうプロジェクトとは？

子宮頸がんに関する普及啓発プロジェクトとして、学生が中心となり、ワークショップ形式で啓発方法について考え、実施するプロジェクト。学生が中心となることで若い年代にも伝わりやすい啓発内容とし、学生の自主的な普及啓発活動につなげることを目的としています。プロジェクトは3年計画で、1年目の平成26年度は大学生が中心となり、プロジェクト名やロゴマーク、子宮頸がんの普及啓発に使用するためのリーフレットやDVD等を作成しました。



北海道対がん協会は、札幌市保健所、市内大学、リボンムーブメント北海道(大学生の子宮頸がん啓発活動グループ)、MSD(株)からなる、当プロジェクトの実行委員として参加しました。プロジェクトメンバーが、がんに関する正しい知識を学習する際に講師を派遣したほか、啓発媒体作成にあたり監修を行いました。

平成26年7月8日 第1回ワークショップ

6大学から男女25名の学生が参加し、子宮頸がんについての講義を実施しました。

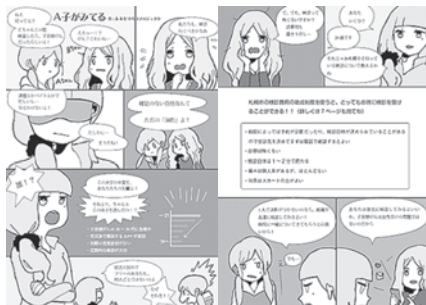
- ①「子宮頸がんとヒトパピローマウイルス(HPV)」
- ②「子宮がん検診の受け方について」

北海道対がん協会 細胞診センター所長 藤田 博正
北海道対がん協会 経営企画課広報係長 植村 絵美



普及啓発媒体の作成

プロジェクトメンバーによるA5版リーフレット・PR用映像作品の作成にあたり、監修を行いました。



「未来を守ろうプロジェクト」プロジェクトメンバー募集

2年目となる平成27年度は、作成した啓発媒体を活用し実際に啓発活動を行う予定です。平成28年度までつづくプロジェクトですが、1年間のみでも参加可能です。プロジェクトに関する情報や、活動に参加してみたい方は

札幌市公式HP

未来を守ろうプロジェクト



をご覧ください。

2014年度寄附金贈呈式を開催しました

開催日時：平成27年3月7日（土）11：00～11：45
開催場所：大通ビッセ 1階 エントランススペース
（北海道札幌市中央区大通西3丁目）

2010年5月に北海道コカ・コーラボトリング㈱と「ピンクリボン活動推進協定」を締結してから、今年で5年目を迎えました。協定に基づき、全道各地に設置を推進している「ピンクリボン活動支援自動販売機」は、初年度は21台ほどでしたが、現在は約130台に増え、それに伴って寄附額も年々増加し、今年度は約165万円もの寄附が集まりました。2015年3月7日に開催した「寄附金贈呈式」では、自動販売機の設置先企業・団体様にお集まりいただき、日頃のご協力に対して感謝状をお渡しするとともに、2014年度のご寄附の目録を頂戴しました。また、寄附金の一部をピンクリボン活動を行う非営利市民団体助成する「2014年度リボンの願い」へ当選した3団体に、活動成果を発表していただきました。



【寄附金贈呈式出席自販機設置先様】

株式会社岸本組 様
株式会社セラビ 様
株式会社パソナ 様
株式会社北海道ロードサービス 様
KDDI株式会社北海道総支社 様
札幌臨床検査センター株式会社 様
日興美装工業株式会社 様
特定非営利活動法人耳をすませば様



【2014年度リボンの願い 当選3団体】



ピンクリボン in SAPPORO

平成 26 年度「リボンの願い」ご報告

● 東日通 1 号店

● 東道

平成 26 年 10 月 21 日 (水) 13:00 ~ 15:00

大塚大学 (東区北 13 条第 3 丁目)

○ ピンクリボンとは何者か

ピンクリボン in SAPPORO では、看護への新たな前進の一環として女子学生を対象とした「ピンクリボン学生講座」を開催しています。

今年度は、ピンクリボン代表の「リボンの願い」絵巻巻を活用させていただきます。

大塚大学にて出張講座を実施しました。ピンクリボン代表で東京の看護専門学校・リベスコの学生 3 名の大学生が講師を務め、乳がんについて説明しました。そしてピンクリボン講座について説明を聞き、最後に毎年行われる「リボンの願い」フォーラムグループへも参加致しました。このようにピンクリボンが活動する大塚大学にも関心し、協力し合う関係構築にピンクリボンの知識を学んでもらえました。

● 当日の様子



大塚大学看護学科の学生 200 名が受講。乳がんや子宮がんの現状、症状、治療をはじめ、予後の大切さやピンクリボン活動についてお話ししました。受講生には大塚大学色紙の「リボンの願い」を、予後の大切さには読み易いながらもしっかり「リボンの願い」を知っていただく機会にもなりました。



看護学科の 1 年級生で、約 40% の方が「今後ピンクリボン活動に参加できるきっかけ」として、巻末「内巻」に乳がん対策を学ばずか、どういってに対しては 80% 以上の方が「はい」とお答えし、目標としてる「医療者や知人に伝える」活動を行うことができました。



今年度で制作した大塚大学リフレットは今後の活動のために活用させていただきます。

「フレストグ」の大作展、巻巻巻るミュージカル





【ピンクリボンin SAPPORO】

女子大生を対象とした「ピンクリボン出前講座」を札幌市内の大学で実施。医療従事者による講義とミュージカル仕立てのミニ劇場を行い、学生本人だけでなく家族や知人に伝わることを目指しました。



COLORE

■ 今回、発行したVita ■

● 2014年10月

【内容】

- ・合計900名へのアンケート調査！
- ・乳がん患者さんへの体験談等、お話を
- ・乳がん、子宮がんからの検診レポート
- ・パワーマンズレポート



● 2015年3月



■ Vita

※毎月発行のVitaは、乳がん検診センターで配布し、乳がん検診センターのホームページでも閲覧することができます。

● 主な掲載内容の目録

- 1. 乳がん検診の重要性
- 2. 10月15日～16日実施調査
- 3. 10月の注目記事
- 4. 10月の注目記事
- 5. 10月の注目記事
- 6. 10月の注目記事
- 7. 10月の注目記事
- 8. 10月の注目記事
- 9. 10月の注目記事
- 10. 10月の注目記事
- 11. 10月の注目記事
- 12. 10月の注目記事
- 13. 10月の注目記事
- 14. 10月の注目記事
- 15. 10月の注目記事
- 16. 10月の注目記事
- 17. 10月の注目記事
- 18. 10月の注目記事
- 19. 10月の注目記事
- 20. 10月の注目記事
- 21. 10月の注目記事
- 22. 10月の注目記事
- 23. 10月の注目記事
- 24. 10月の注目記事
- 25. 10月の注目記事
- 26. 10月の注目記事
- 27. 10月の注目記事
- 28. 10月の注目記事
- 29. 10月の注目記事
- 30. 10月の注目記事
- 31. 10月の注目記事
- 32. 10月の注目記事
- 33. 10月の注目記事
- 34. 10月の注目記事
- 35. 10月の注目記事
- 36. 10月の注目記事
- 37. 10月の注目記事
- 38. 10月の注目記事
- 39. 10月の注目記事
- 40. 10月の注目記事
- 41. 10月の注目記事
- 42. 10月の注目記事
- 43. 10月の注目記事
- 44. 10月の注目記事
- 45. 10月の注目記事
- 46. 10月の注目記事
- 47. 10月の注目記事
- 48. 10月の注目記事
- 49. 10月の注目記事
- 50. 10月の注目記事
- 51. 10月の注目記事
- 52. 10月の注目記事
- 53. 10月の注目記事
- 54. 10月の注目記事
- 55. 10月の注目記事
- 56. 10月の注目記事
- 57. 10月の注目記事
- 58. 10月の注目記事
- 59. 10月の注目記事
- 60. 10月の注目記事
- 61. 10月の注目記事
- 62. 10月の注目記事
- 63. 10月の注目記事
- 64. 10月の注目記事
- 65. 10月の注目記事
- 66. 10月の注目記事
- 67. 10月の注目記事
- 68. 10月の注目記事
- 69. 10月の注目記事
- 70. 10月の注目記事
- 71. 10月の注目記事
- 72. 10月の注目記事
- 73. 10月の注目記事
- 74. 10月の注目記事
- 75. 10月の注目記事
- 76. 10月の注目記事
- 77. 10月の注目記事
- 78. 10月の注目記事
- 79. 10月の注目記事
- 80. 10月の注目記事
- 81. 10月の注目記事
- 82. 10月の注目記事
- 83. 10月の注目記事
- 84. 10月の注目記事
- 85. 10月の注目記事
- 86. 10月の注目記事
- 87. 10月の注目記事
- 88. 10月の注目記事
- 89. 10月の注目記事
- 90. 10月の注目記事
- 91. 10月の注目記事
- 92. 10月の注目記事
- 93. 10月の注目記事
- 94. 10月の注目記事
- 95. 10月の注目記事
- 96. 10月の注目記事
- 97. 10月の注目記事
- 98. 10月の注目記事
- 99. 10月の注目記事
- 100. 10月の注目記事

● 記事一覧 (一部) アンケートの電子








あなたのパワーで
みんなを笑顔に



※毎月発行のVitaは、乳がん検診センターで配布し、乳がん検診センターのホームページでも閲覧することができます。

● 記事一覧 (一部) アンケートの電子

【パフォーマンスプロダクションCOLORE】

フリーペーパー「Vita—命のリボン—」の発行を通じて、若い世代へのピンクリボン活動の周知や乳がん検診の大切さを訴えました。

[illegible]

【特定非営利活動法人耳をすませば】

「日本赤十字北海道看護大学」と協働で20～40代の母親を対象に、乳がん触知モデル体験や運動教室を通して乳がんに関する啓発活動を行いました。

広域紋別病院『ピンクリボン活動支援自動販売機』設置 感謝状贈呈式

開催日時：平成27年 5 月19日（火）15：00～
開催場所：広域紋別病院 小会議室
（紋別市落石町1丁目3-37）

広域紋別病院では、平成27年4月20日の新病院の開設に合わせて、北海道コカ・コーラボトリング株と当協会が推進する「ピンクリボン活動支援自動販売機」を設置いただきました。西紋別地域の公立病院では初の設置となります。平成27年5月19日、この活動の趣旨にご賛同いただいたことに感謝し、感謝状贈呈式を行いました。院長の及川郁雄様からは「(同院が)道立病院時代から、市民公開セミナーを開くなど乳がんの予防啓発に取り組んできたが、現場では悲しい結末を目にすることも多かった。今後も普及啓発により一層力を入れたい。」との力強いお言葉をいただきました。



賛助会員名簿

(平成27年6月末日現在)

(敬称略)

ご 報 告

平成26年度（平成26年4月12日～平成27年4月10日）の賛助会費の収支決算は次のとおりです。
会員の皆様に厚くお礼を申し上げ、ご報告いたします。
なお、名簿には平成27年度の新規会員も含まれます。

収 入 の 部

個 人 会 員	373件	531,000円
法 人 会 員	108件	1,314,352円
計		1,845,352円

支 出 の 部

通信運搬費	資料等の郵送料	390,670円
印刷製本費	普及啓発用パンフレット等の印刷費	1,454,682円
計		1,845,352円

個人会員の部

		後 藤 靖 子	牧 野 洋 子	傳 法 公 磨	栗 田 勝
		齋 藤 芳 子	松 田 勝 子	中 村 陽 子	後 藤 保 子
札幌市中央区	山 本 仁 史	佐々木 圓 治	丸 岡 和 子	能 田 真 結	駒 井 勝 典
相 澤 信 之	横 内 紫 乃	佐々木 志津子	峯 久美子	馬 場 真 志	佐 藤 絵里子
青 木 由 紀	吉 川 泰 代	佐々木 千雅子	宮 崎 ミドリ	林 恵美子	新 木 一 二
浅 川 聡 子	吉 山 八 郎	佐々木 直 子	村 上 軍 時	原 隼	杉 谷 武 子
浅 川 礼 子	札幌市北区	佐々木 秀 子	森 愛 子	張 山 朋 恵	高 橋 奈穂美
東 恵 子	新 枝 百合子	佐々木 容 子	山 内 美恵子	日 野 順 子	高 橋 まゆみ
伊 藤 雅 子	伊 賀 恵美子	佐 竹 啓 一	吉 田 直 美	福 澤 宗 司	高 森 ふじ子
大 上 婦美子	五十嵐 秀 子	佐 藤 幸 代	渡 辺 知 代	藤 川 甫	建 石 春 江
小 田 寿	生 富 徳 子	佐 藤 トキエ	屯田連合町内会女性部	古 永 ゆかり	丹 野 正 宏
桂 絢 子	稲 垣 哲 夫	沢 田 マサ子	札幌市東区	増 田 聖 悟	手 林 明 雄
金 田 晶 子	猪 股 順 子	庄 司 淑 子	市 川 浩 巳	毛 利 拓 哉	寺 尾 彩 子
木 田 達 子	猪 股 正 行	高 橋 茂 子	浦 洋 子	森 康 司	長 瀬 清
小 泉 正 嗣	上 杉 信 子	竹 村 多実子	大 友 信 征	山 口 喜代子	花 田 雅 輝
砂 川 美津枝	宇 内 光 枝	多 田 洋 子	大 原 圭 子	山 崎 留 美	浜 田 道 子
谷 川 都夜子	遠 藤 将 代	富 樫 みよ子	奥 野 信 也	横 山 恵	船 橋 芙沙子
千 葉 敏 也	遠 藤 洋 子	長 澤 和 重	北 本 哲 也	吉 田 晃 暢	山 上 みゆき
塚 田 律 子	大 川 麻 美	南 保 百合子	小 沼 真 澄	札幌市白石区	山 崎 順 子
戸 屋 浩 一	大 淵 五十子	西 嶋 和 恵	小 林 博 子	海 田 悦 子	若 松 紀多子
中 川 時 人	大 向 博 子	似 内 英 子	小 松 薫	小 林 三枝子	札幌市南区
中 島 佳奈子	長 内 瑠美子	Nell 有紀子	小 室 勝 男	清 水 ミヨ子	白 井 寛
長谷部 孝 子	川 田 美恵子	橋 本 智 子	斎 藤 三 郎	杉 本 芳 國	遠 藤 留美子
八 柳 奈美子	川 原 久	畠 眞佐子	佐 藤 伸 尚	畠 山 勉	加 藤 徹
福 原 サ ダ	木 戸 久 子	畠 山 教 子	佐 藤 則 子	山 口 昌 宏	加 藤 道 子
藤 田 秋 見	木 村 亜 矢	花 川 美江子	佐 藤 文 俊	札幌市豊平区	加 藤 睦 子
藤 原 美 樹	木 村 英 子	浜 屋 勝 利	佐 藤 政 子	伊 藤 伸 一	須 江 久 子
松 館 啓 二	工 藤 昭 子	林 奈穂美	周 東 百合子	井 上 悦 子	萩 原 重 利
三 谷 黎 子	熊 林 弘 美	人 見 健 彦	関 芳 一	梅 澤 順 子	畠 山 勝
村 上 芳 郎	黒 田 モトエ	藤 田 智 子	高 橋 敏 憲	大 家 秀 雄	畠 山 廸 子
柳 瀬 敏 子	黒 蔵 邦 夫	藤 原 恭 子	高 山 裕 行	北 沢 光 昭	蜂 谷 禎
八 巻 榮 子	小 島 良 子	古 川 貞 子	田 丸 波 於	北 沢 利恵子	武 藤 英 知

村山タケ子	剣持小萩	菅野龍雄	渡辺富美子	芦別市	鷹栖町
村山隆一	剣持正治	工藤儀一	北海道食生活改善協議会	若澤貢	船橋幸子
八木澤文子	駒沢一文	工藤英明	釧路市	江別市	東神楽町
山口由美子	今野信代	熊谷節子	浅井正子	梅津敏敬	新関おりえ
山田しをり	嵯峨山実	黒墨智	石川信子	木下邦麿	当麻町
吉井廣子	瀬野尾瞳	合田亜希	大石耕治	佐藤光春	井坪利子
札幌市西区	高井収	小西加奈子	小原節子	西村節子	上川町
阿部里絵	高井瑞枝	斉藤毅	加藤清則	真方敏一	木村美江子
伊藤スエ子	辻孝彦	坂田裕美	鎌田智子	山口孝代	増毛町
上山秀夫	藤田義人	佐々木重男	北田雅嗣	山本光博	菊地ゆき
勝見登久子	細越信子	佐々木弘之	木村義和	紋別市	佐藤勉
川合邦夫	三崎陽子	佐藤和美	工藤典子	竹澤康裕	高橋豫克
清水幸代	渡辺正嘉	佐藤利男	黒部栄子	舟見美登里	長田ひさ
白川賢一	札幌市清田区	霜下慎一	小西恒彦	三笠市	西尾ヒナ
志連義治	阿部春郎	上西勝	坂本忠則	樫田勉	遠軽町
高橋延昭	奥木紘二	推名安之	佐藤邦子	恵庭市	植村勇二
田上稔	羽賀俊夫	菅原則子	新堀正稔	土川久美子	安平町
竹内瓊子	半田信子	鈴木貴彦	手塚紀子	伊達市	眞山ヨシ子
中川昌代	南出博子	鈴木宏彦	東崎英子	東愛子	大樹町
西野実花	矢上尚寿	清野友行	濱野暢哉	平口浩造	茂木千恵子
前田好徳	山崎国男	高橋綾子	久田保枝	本間幸子	鶴居村
水野綾子	吉川伸也	高畑弘子	福士雄大	北広島市	瀧澤博
南聡一	函館市	田村阿伊子	松田啓一	高橋寿枝	白糠町
山川則子	村山信夫	千葉美奈子	松葉憲二	服部智恵子	池田昭子
山口裕晃	小樽市	戸嶋梓	三浦清子	石狩市	稲川洋子
山室吉博	小林万寿子	中西健三	村田治美	内田一子	岡部美佐夫
山本武	平松美智子	中山仁彦	山本終一	小松寛	佐々木紀子
札幌市厚別区	旭川市	西川恒彦	吉川カツエ	新篠津村	高橋志保子
佐々木稔	青木津弥子	西田大	渡辺正	高村範子	立石紀子
佐田詔一	浅香伸一	荻原亮一	北見市	乙部町	田森直子
志田加那恵	池田昌弘	長谷川優希	阿部千鶴子	生田晃吉	桧森千枝子
柴田弘子	石川文秋	馬場留理子	楠瀬郁代	京極町	平野温子
立崎磯夫	石川良美	林知子	岩見沢市	後藤ヒデ子	廣谷完三
土田雅恵	石山好人	東辻和彦	石井知江	古平町	廣谷スマ子
新田康子	今村伸	平野真理哉	猪股正治	工藤誓子	峯田弘子
橋掛清市	岩城弘子	藤井哲江	今井武志	余市町	茂木スズエ
深沢武雄	岩崎敏博	藤田静江	網走市	山田せき子	山際百合子
本吉和紀	小野寺兌子	前井絵理	山口征子	由仁町	山口祥子
横山愼	笠茂光範	松谷和江	苫小牧市	大畠安怡子	山吉千鶴子
札幌市手稲区	加藤智子	三鍋澄子	川越祐子	栗山町	山吉文子
大中房江	川瀬政勝	山崎知文	美唄市	坂上由美子	
工藤重民	川橋貴大	横田弘美	井門英明	蓑嶋美智子	

市町村会の部

赤井川村
安平町
置戸町
標茶町
天塩町
弟子屈町
北竜町
八雲町
余市町
羅臼町
蘭越町
留寿都村

株式会社 ベルックス
株式会社 ほくやく
株式会社 北洋銀行
株式会社 北海道医療新聞社
株式会社 北海道新聞社
株式会社 北基サービス
公益財団法人 北海道結核予防会
小南印刷株式会社
札幌国際観光株式会社（サンプラザ）
札幌臨床検査センター株式会社
三機工業株式会社
山藤三陽印刷株式会社
サントリーバレッジサービス株式会社
社団法人 北海道医師会
大丸藤井株式会社
つうけんビジネス株式会社
デンソーテクノ株式会社
道央情報サービス 協同組合
なかせき商事株式会社
中道リース株式会社
日興美装工業株式会社
日立アロカメディカル株式会社
ベル通信工業株式会社
北海ケミー株式会社
北海道カーオイル株式会社
北海道日野自動車株式会社
北海道放送株式会社
堀井薬品株式会社
マンパワーグループ株式会社
株式会社 札幌支店
有限会社 医用センターフクヤ
有限会社 クイックドライかさはら

有限会社 丸や山口商店
石狩市
株式会社 リプロワーク
北海道キリンバレッジサービス株式会社
北広島市
札幌自動車工業株式会社
社会福祉法人 北海道リハビリー
旭川市
旭川市市民生活部市民活動課内旭川市市民委員会連絡協議会女性部会
旭川トヨタ自動車株式会社 末広支店
旭川レディースクリニック
医療法人 アイ・ウィミズクリニック
医療法人社団 せせらぎ通りクリニック
医療法人 東光マタニティクリニック
株式会社 あいわプリント
株式会社 作興運輸
株式会社 ドーホク
株式会社 ノヴェロ 旭川支社
株式会社 富貴堂ユーザック
株式会社 ほくやく
株式会社 ホンダベルノ旭川 末広店
株式会社 ムトウ 旭川支店
環境衛生工業株式会社
協同車輛整備工業 有限会社
澤井石油商事株式会社
産婦人科・内科あべクリニック
高砂熱学工業株式会社
パシフィックベンディング旭川 株式会社
北海道コカコーラボトリング 株式会社 旭川事業所
北海道日野自動車株式会社 旭川支店
有限会社 旭川ティービーエム

有限会社 入江タイヤサービス
有限会社 北光クリーニング
有限会社 ミヤザキ
釧路市
阿寒歯科診療所 大澤正幸
朝日テクノス株式会社 釧路営業所
足立皮膚科・美容外科クリニック
安藤電気保安事務所
加勢内科医院（加勢一夫）
株式会社 近藤設備工業
株式会社 トヨタレンタリース釧路
株式会社 松井建設
釧路市歯科医師会
釧路総合印刷株式会社
杉元内科医院
大栄商事株式会社
千代田電装工業株式会社
道東勤医協 くしろ医院
東洋印刷株式会社
ホワイトデンタルクリニック 松浦由紀江
帯広市
株式会社 帯広臨床検査センター
大同出版紙業株式会社
有限会社 サンコーメディカルセンター
釧路町
有限会社 大沢タイヤ商会
東京都
コード有限責任事業組合
まほろば総合保険 株式会社

法人会員の部

札幌市

アイ・ティ・エンジニアリング
一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会
出光リテール販売 株式会社 北海道カンパニー
伊藤組土建株式会社
カイゲンファーマ 株式会社
株式会社 H B A
株式会社 A T M保険事務所
株式会社 エンパイアー
株式会社 常光
株式会社 スズケン
株式会社 日榮舎
株式会社 日立ビルシステム

がん征圧に尊い寄附金

平成26年4月から平成27年6月までにお寄せいただきました寄附金は次のとおりです。
心より感謝を申し上げます。

【企業・団体】	KDDI株式会社 北海道総支社 様	400,000円
	札幌駅総合開発株式会社 様	44,481円
【個人】	旭川市在住匿名 様	10,000,000円
	菊地浩吉 様	1,000,000円
	大塚忍 様	150,000円
	的場光子 様	30,000円
	杉目敦子 様	金額非公開



KDDI株式会社 北海道総支社 様より ご寄附をいただきました

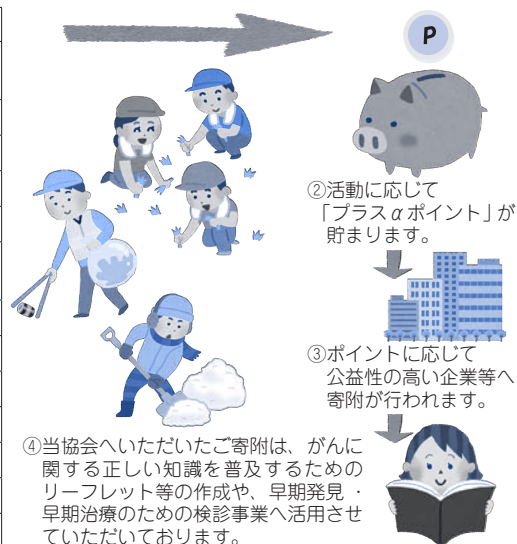
平成26年、平成27年と二年連続で、KDDI株式会社北海道総支社様より、尊いご寄附をいただきました。

心より感謝申し上げますとともに、簡単ではありますが、寄附に至る経緯についてご紹介させていただきます。

【寄附のしくみ】

① KDDI株式会社北海道総支社の社員の皆さまが、休日等を利用してボランティア活動に参加

ボランティア活動の内容
①積極的にCSR活動を進めているリコージャパン主催の「2014年森林再生ボランティアの森樽前山麓」の植樹活動に参加
②2014北海道石狩浜ごみ拾いビーチウォークに参加
③北海道焼尻島で離島清掃活動に参加
④支笏湖畔国有林下草刈り活動へ参加
⑤函館の大森浜海岸清掃ボランティアへ参加
⑥「道新・UHB花火大会」に協賛し、特別観覧席390人分を、東日本大震災の道内避難者でつくる「みちのく会」に寄贈
⑦国立公園釧路湿原 細岡展望台周辺の清掃活動に参加
⑧北海道栗山町でふくしまキッズキャンプに参加
⑨旭川市の常盤公園内清掃活動に参加
⑩タブレット教室開催
⑪ケータイ教室実施
⑫雪かきボランティア活動に参加
⑬寄付型自動販売機での日々の寄付活動



また、平成26年度はこれにご寄附をきっかけに、当協会職員がKDDI株式会社北海道総支社の女性職員の方に向けて、乳がんや子宮がんなど女性特有のがんに関する健康教育を実施させていただきました。

職員の皆さまの尊いボランティア活動をもとにいただいたご寄附を最大限に活用できるよう、今後も北海道におけるがん征圧を目指して啓発活動を強化してまいります。

北海道対がん協会 胃・肺併用X線デジタル検診車「しらかば204号」更新整備

北海道対がん協会では、老朽化した胃・肺レントゲン車の更新整備を計画しておりましたが、この度、公益財団法人JKAの「競輪公益資金による補助事業」より、製作費6,588万円のうち2,205万円の補助を受け、胃・肺併用X線デジタル検診車「しらかば204号」を旭川がん検診センターに配置しました。

この検診車は、これまでのバスシャーシではなくトラックシャーシを使用し、受診者入口を中央へ移動したことで、更衣室スペースを車内に確保、待合室から検査室までの流れを円滑にしたほか、天幕の設置で雨の日も乗り降りしやすくなりました。

また、これまで胃・肺検診車「しらかば号」は、黄色をイメージカラーとしておりましたが、この204号は、緑の大地と青い空をイメージしたカラーリングに一新し、地域住民の健康保持のため、道北を中心に巡回いたします。

がん検診の日程は、お住まいの役場、保健センターで確認できます。検診で見つかるがんは約9割が早期がん。そのほとんどは適切な治療で救命することができます。定期的ながん検診を受けましょう。



しらかば204号



胸部レントゲン装置



待合席

胃部レントゲン装置

公益財団法人JKA「競輪公益資金による補助事業」

事業名	平成26年度検診車の整備補助事業
事業内容	胃・肺併用X線デジタル検診車
	胃X線検診システム
	胸部X線検診システム
補助金額	22,050,000円
自己資金	43,830,000円
完了年月日	平成27年2月25日

車体	日野自動車㈱トラックシャーシ
	胃・肺併用X線デジタル検診車
	全長 10m70cm
	全幅 2m49cm
	全高 3m38cm
架装	重量 16t 230kg
	東京特殊車体㈱
X線装置	株式会社日立メディコ CLAVI mobile ESPACIO